



藤岡南中
学校だより

桜援団

令和6年7月19日

第774号

文責 教頭 釜屋雄一

7/3 7/5 ふじなん相談会

学校だより「桜援団」771号で紹介した「アクティブ・ラーニング週間」もそうでしたが、藤岡南中学校と中山小学校は、様々なところで協力・連携しています。今回紹介する「ふじなん相談会」もその一つで、小学生と中学生が一緒に授業（総合的な学習の時間）を行い、互いに関わって学び合える場を設定しています。

7/3の午後は中学2年生と小学6年生、7/5の午後は中学3年生と小学4年生、それぞれでふじなん相談会を実施しました。中学生は、これまでの学びをまとめたパワーポイントを生かしながら相手にその魅力が伝わるように発表をしたり、小学生の発表を受けてよさをほめたりアドバイスをしたりしていました。小学生は、中学生と関わる中で、今後の学びに対する見通しを新たにもつことができました。ふじなん相談会を通して、小学生も中学生も、主体的に学び合う姿を見せました。



7/5 7/16 思春期教室

7/5は特別支援学級にて、7/16は3年生全クラスにて、保健師を講師とした思春期教室を実施しました。自分の体と心の変化のメカニズムを知って、男女の「性」について正しく理解すること、人が互いに尊重し合う気持ちを養うことが主な目的です。

特別支援学級では主に、「プライベートゾーン」「パーソナルスペース」「性的同意」といった内容についての話を聴き、他者と関わる時にどう行動したらよいのかを具体的に考えることで、見識を広げることができました。3年生は、男女の体の変化や仕組みについて確認し、いくつかの課題を例として他者との関係をどうもつべきかを考えたり、性感染症の種類や予防方法を理解したりすることで、自分を大切にする思いを高めるとともに、命の尊さを実感していました。

